



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社 メディカルシステムネットワーク

上場取引所 東

コード番号 4350 URL <https://www.msnw.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田尻 稲雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長 (氏名) 平島 英治

TEL 011-613-7750

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	25,162	△1.7	△61	—	△62	—	△201	—
2020年3月期第1四半期	25,599	7.3	334	57.6	323	67.7	97	△3.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △209百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 62百万円 (△52.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△6.63	—
2020年3月期第1四半期	3.21	3.20

(注) 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	65,440	9,034	13.8	297.97
2020年3月期	66,464	9,418	14.2	310.39

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 9,034百万円 2020年3月期 9,430百万円

(注) 自己資本、自己資本比率及び1株当たり純資産の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	103,500 ～105,500	△1.7 ～0.2	1,150 ～2,150	△28.8 ～33.1	1,100 ～2,100	△29.5 ～34.6	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	30,642,600 株	2020年3月期	30,642,600 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	322,255 株	2020年3月期	261,115 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	30,367,845 株	2020年3月期1Q	30,381,485 株

(注)期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については【添付資料】P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.四半期連結貸借対照表には、役員株式給付信託(BBT)及び従業員株式給付信託(J-ESOP)の信託財産として、株式給付信託が保有する当社株式が「自己株式」として計上されております。一方、1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、自己資本比率、1株当たり純資産、自己資本、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定については、上記の役員株式給付信託(BBT)の当社株式は自己株式に含めて算出しており、従業員株式給付信託(J-ESOP)の当社株式は自己株式とみなしておりません。なお、2020年3月をもって従業員株式給付信託(J-ESOP)の制度を終了しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は、医薬品ネットワーク部門において新規加盟件数が堅調に推移いたしました。しかしながら、調剤薬局部門において、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等により、長期処方が増加し処方箋単価は上がったものの、処方箋応需枚数は大幅に減少いたしました。以上の結果、売上高は25,162百万円(前年同期比1.7%減)、営業損失61百万円(前年同期は営業利益334百万円)、経常損失62百万円(前年同期は経常利益323百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失201百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益97百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

①地域薬局ネットワーク事業

本事業に関しましては、医薬品サプライチェーン全体に対する価値の提供を推進することを目指し、医薬品ネットワークによる薬局等の経営支援、調剤薬局の運営及び医薬品の製造販売を行っております。

医薬品ネットワーク部門におきましては、流通効率化へのニーズの高まりから、引き続き新規加盟件数は堅調に推移いたしました。2020年6月30日現在の医薬品ネットワーク加盟件数は、当社グループ415件、一般加盟店5,202件の合計5,617件(前連結会計年度末比372件増)となりました。

調剤薬局部門におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等により長期処方が増加し処方箋単価は上がったものの、処方箋応需枚数は大幅に減少いたしました。2020年6月30日現在の店舗数は、調剤薬局415店舗、ケアプランセンター1店舗、コスメ・ドラッグストア8店舗となりました。

医薬品製造販売部門におきましては、引き続き良質で安価な後発医薬品の安定供給に取り組んでおります。2020年6月30日現在、29成分60品目を販売しており、医薬品ネットワーク一般加盟店における取扱店舗数は707店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は23,922百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益434百万円(同47.3%減)となりました。

②賃貸・設備関連事業

本事業に関しましては、サービス付き高齢者向け住宅の入居件数が概ね堅調に推移したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、建築業務において一部の受注案件で延期が発生したこと等により、売上高は722百万円(前年同期比5.0%減)、営業利益6百万円(前年同期は営業損失8百万円)となりました。

なお、サービス付き高齢者向け住宅の2020年6月30日現在の入居状況につきましては、全5棟のうち3棟は入居率90%以上であり安定的な入居率を維持しております。残り2棟については、「ウイステリア千里中央」が全82戸中67戸(入居率81.7%)、「ウイステリア南1条」が全116戸中73戸(入居率62.9%)であり、期末の入居率目標90%に向けて新型コロナウイルス感染症対策を講じた営業活動を行ってまいります。

③給食事業

本事業に関しましては、新型コロナウイルス感染症の影響により給食提供数が減少したことや、不採算施設の撤退等により、売上高612百万円(前年同期比16.1%減)、営業損失19百万円(前年同期は営業損失12百万円)となりました。

④その他事業

本事業に関しましては、訪問看護事業を行っており、売上高51百万円(前年同期比33.8%増)、営業損失11百万円(前年同期は営業損失21百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は65,440百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,023百万円減少しました。

流動資産は20,101百万円となり、前連結会計年度末に比べ477百万円の減少となりました。主な要因は、商品が増加したものの、現金及び預金並びに売掛金が減少したことによるものであります。

固定資産は45,339百万円となり、前連結会計年度末に比べ546百万円の減少となりました。主な要因は、のれん等が減少したことによるものであります。

一方、負債の部においては56,406百万円となり、前連結会計年度末に比べ639百万円の減少となりました。流動負債は23,822百万円となり、前連結会計年度末に比べ525百万円の増加となりました。主な要因は、未払法人税等及び賞与引当金が減少したものの、短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は32,584百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,165百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金が増加したことによるものであります。

また、純資産の部においては9,034百万円となり、前連結会計年度末に比べ384百万円の減少となりました。主な要因は、期末配当の支払等により利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月8日に公表した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,722	10,834
売掛金	2,313	1,926
債権売却未収入金	735	695
調剤報酬等購入債権	428	385
有価証券	10	10
商品	4,439	5,297
原材料	13	12
仕掛品	0	1
貯蔵品	79	80
その他	847	871
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	20,578	20,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,885	13,681
土地	9,154	9,154
建設仮勘定	19	171
その他(純額)	2,067	1,965
有形固定資産合計	25,126	24,973
無形固定資産		
のれん	14,179	13,885
ソフトウェア	303	299
その他	131	129
無形固定資産合計	14,615	14,314
投資その他の資産		
投資有価証券	483	466
差入保証金	2,277	2,265
繰延税金資産	2,562	2,456
その他	846	888
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	6,143	6,051
固定資産合計	45,885	45,339
資産合計	66,464	65,440

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,021	9,861
短期借入金	3,916	5,664
1年内返済予定の長期借入金	4,634	4,555
未払法人税等	454	27
賞与引当金	1,401	749
役員賞与引当金	—	8
ポイント引当金	3	3
店舗等閉鎖損失引当金	9	9
その他	2,856	2,943
流動負債合計	23,296	23,822
固定負債		
長期借入金	27,601	26,500
役員退職慰労引当金	770	780
役員株式給付引当金	177	175
退職給付に係る負債	2,938	3,014
その他	2,261	2,112
固定負債合計	33,749	32,584
負債合計	57,045	56,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,128	2,128
資本剰余金	1,183	1,182
利益剰余金	6,414	6,058
自己株式	△206	△225
株主資本合計	9,519	9,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△37	△49
繰延ヘッジ損益	△3	△2
退職給付に係る調整累計額	△60	△57
その他の包括利益累計額合計	△100	△109
純資産合計	9,418	9,034
負債純資産合計	66,464	65,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	25,599	25,162
売上原価	15,759	15,458
売上総利益	9,839	9,704
販売費及び一般管理費	9,504	9,765
営業利益又は営業損失(△)	334	△61
営業外収益		
受取利息及び配当金	4	4
業務受託料	26	19
設備賃貸料	24	22
雑収入	18	32
営業外収益合計	73	78
営業外費用		
債権売却損	13	13
支払利息	64	56
雑損失	6	9
営業外費用合計	84	79
経常利益又は経常損失(△)	323	△62
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	2	6
店舗閉鎖損失	13	3
その他	0	1
特別損失合計	16	11
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	307	△73
法人税、住民税及び事業税	55	17
法人税等調整額	154	109
法人税等合計	209	127
四半期純利益又は四半期純損失(△)	97	△201
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	97	△201

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	97	△201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	△11
繰延ヘッジ損益	△3	0
退職給付に係る調整額	1	2
その他の包括利益合計	△34	△8
四半期包括利益	62	△209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62	△209

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	24,224	605	730	38	25,599	—	25,599
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	154	—	—	154	△154	—
計	24,224	760	730	38	25,753	△154	25,599
セグメント利益 又は損失(△)	825	△8	△12	△21	782	△447	334

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△447百万円には、セグメント間取引消去83百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△531百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社の一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	23,922	576	612	51	25,162	—	25,162
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	146	—	—	146	△146	—
計	23,922	722	612	51	25,308	△146	25,162
セグメント利益 又は損失(△)	434	6	△19	△11	410	△472	△61

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△472百万円には、セグメント間取引消去74百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△546百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社の一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。